

ワークショップ 9

<p>企画名</p>	<p>第9回臨床研究デザイン道場 ～ クリニカルクエスチョンを研究に導く！リサーチミーティングを一緒にやってみよう！～</p>
<p>企画 責任者</p>	<p>研究支援委員会 一瀬直日（赤穂市民病院）</p>
<p>定員</p>	<p>36名</p>
<p>目的 概要</p>	<p>【内容】臨床研究道場は臨床研究を自分もしてみたいな、できそうかもしれない、という気づき（awareness）を育む場です。今回は「臨床研究をやってみたいけど、どうやって始めたらよいかわからない。いや、そもそもどうやってクリニカルクエスチョンが出来るのかがわからない。」と悩んでいる方々を対象とし、漠然とした臨床現場の疑問を持ち込んでいただき、研究のエキスパート達が、臨床研究の形に方向づけていく双方向型学習を行います。</p> <p>【対象レベル】初学者</p> <p>【方法】臨床現場の疑問を4名の参加者に持ち込んでもらいます。（事前に参加希望者に e-mail で募集をかけ、当スタッフにて選んだものを使用。）研究のエキスパートと共にリサーチミーティングを開き、1例あたり5分のプレゼンテーションと20分のディスカッションを行います。研究エキスパートからはディスカッションの中で、全体向けにミニレクチャーを行います。</p> <p>漠然としたままの疑問は、疑問をリサーチクエスチョンにまとめられるようにします。クリニカルクエスチョンが明確だが量的研究にも質的研究にもなりうる形であれば、リサーチクエスチョンに導き、構造化抄録に持ち込むことを目標とします。</p> <p>【募集】約30名。リサーチミーティングに参加したい4名には事前に臨床現場の疑問を提出していただき、指定フォーマットを用いた3枚程度のプレゼンテーションスライドを用意していただきます。</p> <p>【ワークショップの時間】2時間40分</p> <p><u>「※研究助成申請予定者は、定員が限られますので、早めの登録をおねがいたします。」</u></p>